

目黒労協 2018夏季闘争ニュース

No. 18-08 2018年7月2日

発行: 目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://home.g01.itscom.net/union/>

メール union@r05.itscom.net

基地のなし! 平和な沖縄を!

土建目黒支部・沖縄平和ツアーに参加

6月25日から27日の3日間、東京土建目黒支部&めぐろ平和委員会の主催で、『2018 沖縄平和ツアー』が取り組まれ、総勢21名の組合員や区民の方が参加しました。目黒労協からも、副議長と事務局次長が参加し、二人とも初めての沖縄訪問でしたが、現在の沖縄と基地などの状況を、自分たちの目にしっかりと焼き付けることができました。

労協だけではとても実現できる企画ではありませんでしたが、土建目黒支部を中心に、昨年より取り組みが始められ、今年で2回目となりました。しっかりとスケジュールや、現地の闘いが体感できるツアーです。みなさんにもぜひお勧めします。(目黒労協/事務局)



6月26日 辺野古の浜辺で『新基地建設阻止』座り込みテントを訪問



高江のヘリパッドゲート前で伊佐さんの報告



辺野古沖から埋め立て現場を海上視察

初めて見る光景や体験 ショックでした

参加報告:事務局次長

『沖縄平和ツアー』は昨年からはじめました。本当は昨年も参加するつもりでしたが、どうしても日程が合わず、断念した経緯があります。そういうこともあり、今回は最初に連絡をいただいた時から日程を確保し、満を持して参加させていただきました。

高江・ヘリパッドゲート前では、残念ながら座り込みに参加することができませんでした。米軍基地ゲートを日本の会社の警備員が警備していることに、大いに違和感を覚えました。辺野古では船に乗って、海上から埋め立ての現場を視察しました。ここでもやはり、警備しているのは日本の警備会社。また、米軍の実射訓練で赤茶けてしまった山、そしてひっきりなしに飛行している米軍ヘリコプターなど、ここが日本とはとても思えません。

キャンプ・シュワブゲート前の座り込みには、全員で参加しました。警官に“排除”されるなど、人生で初めての経験です。他の参加されている方たちも、本当に真剣です。山城さんの『トラック通行を完全に阻止できていないが、計画を遅らせることはできている』との言葉が印象的でした。あとは、私たち本土の人たちの意識と国中を巻き込んだ闘いだ、ということだと思います。沖縄の人たちに寄り添った支援が、もっと必要です。

企画・準備および運営をされた事務局の皆様、貴重な体験をありがとうございました。



キャンプ・シュワブゲート前での座り込み



普天間基地に待機するオスプレイ機

地域&職場での取り組み



目黒区職労

目黒区職労では、女性部主催で4月に日帰りバス旅行、5月に料理教室を開催しました。料理教室は3回めでいつもたくさん申し込みがあり、好評です。バス旅行では、牛久でいちご狩りをし、近くの予科練平和記念館に寄ってきました。展示されている予科練生の手紙は心を打つものがあります。(目黒区職労/通信委員)

東京土建目黒支部

東京土建目黒支部では、6月10日(日)を中心に、第41回・住宅デーを区内計12か所の公園で行いました。日頃お世話になっている区民の皆様に奉仕する日として取り組んでいます。『住まいの何でも相談会』など、安心して頼める地元の建設職人(組合員)が、親身になって区民の皆様の相談にのります。包丁砥ぎ・まな板けずり(無料)は、毎年必ず利用されるかたもいらっしゃるなど、区民の皆様に溶け込んだ活動になっています。(東京土建目黒支部/通信委員)



目黒社保協

6月15日、目黒社会保障推進協議会の2018年度総会が行われました。引き続き労協も、役員・幹事を派遣しています。



救援会目黒支部

6月17日、土建目黒会館にて『証人の椅子』上映会が行われ、労協関係者を含む、20名を超える参加がありました。

